



未来の架け橋へ

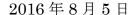
2016年 日本・中国高校生交流(ティーンエイジ アンバサダー)日本プログラム 実施報告書

7月11日(月)~7月19日(火)

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

**EON 1%** Club Foundation

つながる つづける





各位

公益財団法人イオン 1%クラブ 事務局長 友村 自生

### 報告書(中国高校生の来日)

日頃よりイオン 1%クラブの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。 今年 8 年目を迎えました標記事業につき、下記の通りご報告申し上げます。

- 1. 実施期間:7月11日(月)~7月19日(火)
- 2. 実施目的:両国の友好親善の促進、高校生のグローバルな視野の育成
- 4. 主な活動内容:
  - ①<表敬活動>
    - ・首相官邸、外務省(横地晃課長との質問会)
    - ・中国駐日本大使館での郭燕公使との質問会
    - 中国駐日本大使館歓迎会
    - 大分市役所
    - · 北海道教育委員会
  - ②<文化体験>
    - ・茶道、お菓子作り、切子作り体験、
    - ・ミュージアム、美術館、工場、動物園見学
    - ・民宿、地引網、ラベンダーオイル作り、牧場体験
  - ③<交流活動>
    - 学校訪問、授業体験
    - ホームステイ(2泊3日)
    - ・フェアウェルパーティー
- 5. 従来との相違点:
  - ①日本側参加校の公募制の導入

公益財団法人への移行に伴い、2015年12月にホームページ上にて公募開始、2016年1月に外部委員による選考委員会にて交流校決定というステップで行い、今回初めて北海道と大分県の高等学校が選定されました。



②日本側参加者の国籍多様性

日本側高校生の中に、日本で育った外国国籍者(ポーランド、韓国、インドネシア)が参加しました。

③フェアウェルパーティでの Skype による東京、大分、札幌会場の同時中継

#### ●首相官邸表敬訪問

時 間:7月12日(火)15:00~15:30

表敬相手: 萩生田光一内閣官房副長官

・日中小大使からのスピーチ



### ・中国小大使代表スピーチ

中国と日本はアジアで影響力を持つ国として、 漢の王朝時代から既に文化交流があり、人民レベル でも親密な関係を築いてきました。

そして両国の未来の希望として、中日の青少年 たちも、互いに相手の文化への理解を深め、自国の 文化を広める責任を担うべきだと思います。

私たちは互いへの理解と知識を深めるという 意志を持って、今回の活動に取り組んでいます。

——北京市滙文高等学校 生徒代表



### ・日本小大使代表スピーチ

今回の日中交流は中国を更に理解し、友好関係をより発展させる近道と言えるかもしれません。

私はこの交流プロジェクトに臨むにあたって 日本の代表ということを自覚し、互いに相手国の ことを理解し、日本と中国の距離を縮めるために 積極的に交流に臨みたいと思います。

そして将来、人と人との交流が更に盛んになり、 日本と中国がより友好関係を深められることを 強く願います。

——筑波大学附属高等学校 生徒代表

・日中小大使よりプレゼント贈呈



中国小大使より手作りの切紙を 萩生田内閣官房副長官に贈呈

日本小大使より涼しさ溢れる風鈴 を萩生田内閣官房副長官に贈呈

中国小大使より安倍首相への 贈物として世界平和を意味する 手作りの木彫品「蓮芸盤」を贈呈

### ○日本小大使の感想

日中関係にとって、隣国同士で、今政府の方々が頑張っているように、 私たち高校生も交流していくことが大切だと思いました。



筑波大学附属高等学校



●外務省表敬訪問及び質問会

時 間:7月13日(水)10:00~11:15

表敬相手:岸田文雄外務大臣

質問会:横地晃課長・横地晃課長との質問会



#### ・横地晃課長よりご挨拶

#### (前略)

是非中国の高校生の皆さんにおかれましては、 日本の様々な姿を、ご自身の目で確かめて頂き、 直に体験して頂き、日本という国、それから 日本人について自分なりの理解を深めて頂きたい と思います。

#### (省略)

そして、9日間の滞在を経て帰国されましたら、 是非日本での経験を中国のご家族、ご友人の方々 にお伝え頂きたいと思います。そして日本に 対してより一層関心を持って頂き、将来に日本に 留学されたり、就職されたりして様々な分野で 日中の間の懸け橋として活躍されることを心から 期待申し上げます。

・岸田文雄外務大臣よりご挨拶(サプライズでご登場されました)



岸田大臣より日中両国の高校生たちへ期待の メッセージ

中国の小大使より岸田大臣へ中国の国花「牡丹」 の絵を贈呈

#### 中国小大使の感想

外務省の方々との交流を通して、中国と日本はこれまでも、これからも 一衣帯水の隣邦として、切り離せない運命共同体だということを再確認 しました。



山東省青島市第二高等学校

# **✓**EON 1% Club Foundation

### <表敬活動>

- ・中国小大使からの質問
- Q. 都市計画の面で、日本はどのように上手く効率的にできたのですか。
- Q. 経済のグローバル化が進んでいますが、日本で一番競争力の高い産業は何ですか。
- Q. 日本企業の海外進出が好調に進んでいる中で、日本企業の海外発展の強みは何ですか。
- Q. 日本人は今でも茶道を学んでいますか。このような伝統文化をどのように見ていますか。
- Q. 職人精神は中国企業にとってコアとなる精神ですが、日本企業にとってのコア精神は何ですか。
- Q. 高齢化は中日両国の共通問題ですが、日本政府はどのような対策を考えていますか。
- Q. 中国の高校生が日本への留学を目指していることに対して、日本政府はどのような政策を行っていますか。
- Q. 中国では学生が海外留学して、卒業後に現地に留まることが多いですが、日本も同じ状況ですか。
- Q. 北京の農村と都市には教育レベルに大きなギャップがありますが、日本にも同様の問題はありますか。その問題の解決方法は何ですか。
- Q. 近年、中国における一番大きな変化は何だと思いますか。
- ・日本小大使からの質問
- Q. 日中関係はどのように改善していますか。
- Q. 政府として相手国を知るために、どのように正しい情報を入手していますか。
- Q. 日本は難民をあまり受け入れていないと報じられていますが、今後、難民問題についてどう対応 していくつもりですか。
- Q. 日中関係の改善に向けて、私たち高校生はどのような行動をすればよろしいですか。
- ●中国大使館での質問会

時 間:7月13日(水)16:45~17:30

質問会:郭燕公使



郭公使より日中両国の小大使たち(140名)へ歓迎のご挨拶

- ・日本小大使からの質問
- Q. 日中両国の認識という点について努力によって改善できると思いますが、これについてビジョンを持っていますか。
- ・中国小大使からの質問
- Q. 中日両国の関係を改善するために、高校生として何ができますか。



●中国大使館歓迎会

時間:7月13日(水)18:30~20:30



# 総勢 190 名の皆さんで盛り上がりました

<たくさんのご来賓もお見えになりました>





加藤 勝信 様 衆議院議員



古川 元久 様 元国家戦略担当大臣 衆議院議員



小渕 優子 様 一 衆議院議員





劉臨時代理大使より歓迎のご挨拶

中国小大使より劉臨時代理大使 へ記念品の贈呈

日本小大使より劉臨時代理大使 へ記念品の贈呈



日本東京小大使より「よさこいソーラン」を披露

中国北京小大使より中国伝統舞踊を披露

### ○日本小大使の感想

ペアの子との距離も縮まり、他の高校の皆さんとも交流できて、 とてもいい機会でした。



札幌日本大学高等学校

### ⊕中国小大使の感想

今回の活動を通して、日本にとても興味を持ちました。これから チャンスがあれば、また日本に来て中日両国の文化交流を促進 したいと思います。



北京市三里屯第一高等学校



●大分市役所表敬訪問(武漢・大分チーム)

時 間:7月14日(木)14:00~14:30

表敬相手: 佐藤樹一郎市長

・日中小大使からのスピーチ



#### ・中国小大使代表スピーチ

「国交は国民の親しみにあり、国民の親しみ は心の繋がりにあります。」

私の学校は昔に大分王子中学校と交流したことがあり、今でも当時の写真を大切に保存していて、その写真を見る度に、両国の若者が互いに学び合い、知識を共有し合った場面が頭に浮かびます。高校生として、中日関係の改善に力を尽す責任と使命を感じています。

——武漢外国語学校 生徒代表

#### ・日本小大使代表スピーチ

今、ここにいる私たち 40 名は同世代の誰より も日中交流に関心を持っています。

大分市と武漢市は姉妹都市で、今回の交流を通して、武漢市と大分市の親睦を更に深めたいと願っています。私たちはこのプログラムに、日本人或いは中国人として参加するのでなく、日中小大使としてお互いの文化を尊重し合い、日中交流の促進に努めることを誓います。

——岩田高等学校 生徒代表

#### ・中国小大使よりプレゼント贈呈



中国小大使より「線描」の絵を佐藤市長に贈呈

### ○中国小大使の感想

武漢の姉妹都市である大分市の市長に訪問するチャンスを頂いて 本当に光栄です。とても感動しています。



武漢外国語学校



●北海道教育委員会表敬訪問(青島・札幌チーム)

時 間:7月14日(木)15:00~16:00

表敬相手:柴田達夫教育長

・日中小大使からのスピーチ



・中国小大使代表スピーチ

今回私たちは今日の中国を代表し、一衣帯水 の隣国に先人の足跡を辿って参りました。

今の中国の姿を日本の皆さんに伝えたいと思います。伝統文化と現代文化を融合し、 貴国の青年と友情の架け橋を共に築けるよう 努めます。

中日両国の友情が学生間で続くことで、より 美しい未来を創ることができると思います。

——山東省青島市第二高等学校 生徒代表



・日本小大使代表スピーチ

これまで私たちは、青島の高校生に対して 日本文化を紹介し、日本人への理解を深めて もらおうと活動してきました。青島の高校生 たちはとても積極的で、皆はしっかりとした 意見と目的を持っています。

日本、また北海道の代表として 10 月に中国に 行くという貴重な機会を大切にし、日中友好の 架け橋となるように頑張りたいと思います。

——札幌日本大学高等学校 生徒代表

・中国小大使よりプレゼント贈呈



中国小大使より自作の掛け軸を柴田教育長に贈呈 (漢字の意味:人徳は大地のようにあらゆる生物を育む)

#### ○中国小大使の感想

教育長はとても親切で、緊張感が和らぎました。私たちも歌を 通じて感謝の気持ちを伝えました。



山東省青島市第二高等学校

### <文化体験>

■北京チーム

●茶道体験

●カップヌードルミュージアム見学

時 間:7月12日(火)10:50~11:50 時 間:7月14日(木)15:30~17:30

場 所:月島社会教育会館 場 所:日清カップヌードルミュージアム



茶道の説明を聞いています

マイラーメンを作りました

●民宿体験(日本人チームも参加)

時 間:7月15日(金)18:00~7月16日(土)10:00

場 所:南房総市・やまげん・岩井海岸



とても美味しい晩御飯を用意してくれました

いよいよキャンプファイヤが始まります

### ○日本小大使の感想

中国の歌や日本の歌を一緒に歌い合ってとても楽しい時間になりました。一緒に花火もやれて、忘れられない夜になりました。



千葉市立千葉高等学校

●地引網体験(日本人チームも参加)

時 間:7月16日(土)7:50~9:00

場 所:南房総市・岩井海岸



南房総市の嶋田副市長が来てくれました

獲った魚の説明を聞いています

## <文化体験>

■武漢チーム

●お菓子作り体験

●美術館見学(日本人チームも参加)

間:7月12日(火)10:45~11:45 時 間:7月16日(土)15:00~16:00

場 所: TJT Studio 場 所: 大分市美術館



先生の説明を聞きながらお菓子を作っています

皆が描いた魚たちが水槽で泳ぎます

●動物園見学(日本人チームも参加)

時 間:7月14日(木)15:00~17:00

場 所:高崎山自然動物園



猿の習性について説明を聞いています

猿に餌を与えています

●地引網体験(日本人チームも参加)

時 間:7月16日(土)10:30~12:00

場 所:臼杵市·深江苙場



皆でタイミングを合わせて網を引いています

自分たちで獲った魚を焼いています

#### 中国小大使の感想

人生で初めて海に来て、地引網を経験してとてもわくわくしました。 日本の友達と一緒にイカやタコも獲れてとても楽しかったです。



武漢外国語学校

### <文化体験>

- ■青島チーム
- ●切子作り体験

時 間:7月12日(火)10:30~11:40

場 所:浅草おじま

●工場見学(日本人チームも参加)

時 間:7月14日(木)16:30~18:00

場 所:白い恋人パーク



ガラスに模様を刻んでいます



白い恋人の工場を見学しています

●ラベンダー畑見学・手作り体験(日本人チームも参加)

時 間:7月16日(土)9:20~12:30 場 所:幌見峠ラベンダー園・羊ヶ丘



ラベンダーを摘み取っています



ラベンダーオイルを作っています

●牧場見学(日本人チームも参加)

時 間:7月16日(土)15:00~16:00

場 所:むらかみ牧場



アイスクリーム作りにチャレンジしています

勇気を持って牛に餌を与えました

### ○中国小大使の感想

ラベンダー園でラベンダーオイルを作ったり、牧場で動物に触れたり してとても楽しかったです。北海道が大好きになりました。



山東省青島市第二高等学校

### ●授業体験

時 間:7月15日(金)8:00~16:00

所:【北京チーム】筑波大学附属高等学校・千葉市立千葉高等学校 場

【武漢チーム】岩田高等学校

【青島チーム】札幌日本大学高等学校

■北京チーム (筑波大学附属高等学校)



家庭科の授業で親子丼を作っています

生徒会の学生たちと交流しています

### ○中国小大使の感想

日本の授業の雰囲気は中国と比べるととてもリラックスしていて、 いい学習環境だと思います。



北京市三里屯第一高等学校

■同(千葉市立千葉高等学校)



○中国小大使の感想

音楽の授業はとても面白かったです。中国の教学方式と違って、映像 鑑賞を通して音楽を勉強することはいい方法だと思います。



北京市順義牛欄山第一高等学校

### ■武漢チーム(岩田高等学校)



校長と多くの生徒が迎えてくれました

浴衣の着付けを体験しています

### ○中国小大使の感想

初めて着物を着ました。着付けは複雑でしたが、とても優雅だな と思います。日本の伝統を体験できて非常に新鮮でした。



武漢外国語学校

### ■青島チーム(札幌日本大学高等学校)



茶道のやり方を学んでいます

日中合作でたこ焼作りに挑戦しました

### ○中国小大使の感想

日本の茶道は中国の茶道とは少し違いますが、様々な事を学びました。 抹茶はとても美味しかったです。



山東省青島市第二高等学校分校

●ホームステイ

時 間:7月16日(土)~7月18日(月)2泊3日

場 所:交流ペアの家庭

※撮影協力対象: 筑波大学附属高等学校 男子学生 ⇔ 北京の男子学生



ペアのご家族と巻き寿司を作りました

ペアがおにぎりの作り方を教えてくれました

### ⊕ホストファミリーの感想



- Q.どんな気持ちで待っていましたか?
- A.最初に王さんからとても長いメールが来て、とても楽しみにしてくれていたようなので、私たちも彼が来るのを待ち望んでいました。そして、彼が来てとても楽しみにしているというのが伝わってきて、私たちも幸せで2人が凄く仲良くしているのがとても微笑ましく、嬉しく思います。こういう機会を与えて頂いたことに本当に感謝しています。
- Q.中国の子とこうして友好を深めることについてどう思いますか? A.この子たちの世代は、世界各国の色んな所にお友達ができるような 時代だと思いますので、そのような環境はとても良いと思います。

#### ※撮影協力対象:千葉市立千葉高等学校 女子学生 ⇔ 北京の女子学生



ペアのご家族と朝食を作りました

ペアのご家族と歓談しています

### ⊙ホストファミリーの感想

- Q.このプログラムについてどう思いますか?
- A.娘の成長にも繋がりますし、是非参加できればと思い応募しました。 実際参加してみて普段関わることができない中国の学生さんと娘が凄く 仲良く交流しているのを見て、参加して良かったと思います。

これはお互いの将来にとっても、プラスになると思います。

将来、娘がこうした国際的な活動に興味が湧いたり、中国で仕事がしたいと思ってもらえると嬉しいですし、黄さんも日本にまた来たいとか、日本で仕事がしたいと思って頂ければ有り難いです。



%撮影協力対象:岩田高等学校

### 男子学生 ⇔ 武漢の男子学生



ペアのご家族は沢山の料理を準備して 歓迎してくれました



ペアの野球試合を彼の両親と応援に行きました

### ジホストファミリーの感想



- Q.葉恒基さんの印象はどうでしたか?
- A.とっても明るくて、気さくな青年でした。 初めて会った気がしないと葉さんも言っていましたが、 昔から息子の友達であり、仲良くしてきた仲間のような様子 でした。

本当に楽しく時を過ごすことができました。これからもずっと仲良く交流を続けていきたいと思っています。

### ※撮影協力対象:札幌日本大学高等学校 女子学生 ⇔ 青島の女子学生



ペアがご家族の写真を見せてくれました

ペアのご家族と大好きなラーメンを食べに 行きました

### ◎ホストファミリーの感想

- Q. ホストとして迎えた中国人学生の印象はどうでしたか? A.日本の高校生と変わらないです。やはり同じ東洋人だなと思いました。
- Q.どういったところでそう感じましたか?
- A.接し方やしゃべり方ですね、日本語が上手ですし、奥ゆかしさも ありますし、わびさびも知っているようです。正座をしながら 食事したりなど、溶け込んだ様子です。

冬も北海道に来て欲しいです。



●フェアウェルパーティー

時 間:7月18日(月)18:00~20:30

場 所:ホテルイースト21東京・レンブラントホテル大分・ホテルエミシア札幌



三会場で訪日期間中に誕生日を迎えた学生たちにサプライズ似顔絵ケーキを用意しました



三会場を繋ぐ同時中継に初挑戦しました

三会場で写真コンテストを開催しました



大分市市長 佐藤樹一郎様が出席してくださいました (大分会場)



札幌市市民文化局長 池田佳恵様が出席してくださいました(札幌会場)



小大使たちは8日間の記録映像を見ながら感極まった様子でした(東京会場)

### ・日中高校生交流事業の歩み

■1996 年※金沢市(金泡	尺辰巳丘高等学校)	$\leftarrow$	香港 24 名
松山市(松山東高等学校)			
■1998 年※千葉市(植画	草学園文化女子高等学校、	$\leftarrow$	青島市 24 名
昭和	和学院秀英高等学校)		
新潟市(敬和学園高等学校)			
■2004年※太田市(太日本)	田市立商業高等学校)	$\leftarrow$	広州市 20 名
■2009年 東京都 20 名	(筑波大学附属高等学校)	$\longleftrightarrow$	北京市 20 名
■2010 年 東京都 40 名	(筑波大学附属高等学校、	$\longleftrightarrow$	北京市 40 名
	東京学芸大学附属高等学校)		
■2011 年 東京都 39 名	(筑波大学附属高等学校、	$\longleftrightarrow$	北京市 40 名
	東京学芸大学附属高等学校)		
■2012 年 東京都 97 名	(筑波大学附属高等学校、	$\longleftrightarrow$	北京市、天津市、青島市 100 名
	東京学芸大学附属高等学校、		
	お茶の水女子大学附属高等学校、		
	東京都立西高等学校)		
■2013 年 東京都 30 名	(筑波大学附属高等学校、	$\longleftrightarrow$	北京市 30 名
	東京学芸大学附属高等学校)		
大阪府 15 名	(大阪教育大学附属高等学校池田校舎)	$\longleftrightarrow$	武漢市 15 名
兵庫県 15 名	(兵庫県立姫路西高等学校)	$\longleftrightarrow$	蘇州市 15 名
■2014年 東京都 45 名	(筑波大学附属高等学校、	$\longleftrightarrow$	北京市 30 名
	東京学芸大学附属高等学校)	$\longleftrightarrow$	武漢市 15 名
千葉市 15 名	(千葉市立千葉高等学校)	$\longleftrightarrow$	蘇州市 15 名
■2015年 東京都 45 名	(筑波大学附属高等学校、	$\longleftrightarrow$	北京市 30 名
	東京学芸大学附属高等学校)	$\longleftrightarrow$	武漢市 15 名
千葉市 15 名	(千葉市立千葉高等学校)	$\longleftrightarrow$	蘇州市 15 名
■2016 年※東京都 20 名	(筑波大学附属高等学校)	$\leftarrow$	北京市 20 名
千葉市 10 名	(千葉市立千葉高等学校)	$\leftarrow$	北京市 10 名
大分市 20 名	(岩田高等学校)	$\leftarrow$	武漢市 20 名
北広島市 20 名 (札幌日本大学高等学校)		$\leftarrow$	青島市 20 名

 $\frac{1}{2}$ 1996年、1998年、2004年の交流は相互交流ではなく、中国の高校生による日本への訪問のみ。  $\frac{2}{2}$ 同年 10月には日本の高校生が中国を訪問する予定。